

中小が大手から事業を引き継いだ最近の事例

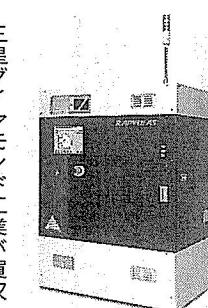
◆マイクロニクス(京都府宇治市)
和光純薬工業と組みパナソニック子会社から創薬関連装置の事業を取得
◆プロテック(東京・千代田)
サン電子からパソコン周辺製品の製造販売事業を2000万円で取得
◆浜田(大阪府高槻市)
イチネンホールディングスから高速充電器事業を取得
◆ミートコンパニオン(東京都立川市)
京樽の福島工場の食品製造、加工事業の一部を取得予定
◆プロアシスト(大阪市)
パナソニック電工子会社からGPS関連サービスを取得
◆GPバイオサイエンス(札幌市)
モリテックスから遺伝子解析の事業を取得
◆三星ダイヤモンド工業(大阪府吹田市)
大日本スクリーン製造からレーザー装置子会社を買収

位置検索、遺伝子解析…

大手企業がリストラなどで撤退を決めた事業を、中小が取得する動きが広がっている。ソフト開発のプロアシスト(大阪市)は、パナソニック電工子会社から携帯電話を使った位置検索サービスの事業を買い取った。医薬や電子デバイスなど技術開発に巨費を必要とする分野でも、買収案件が相次ぐ。自前で開発するより少ない資金で、大手の「成果」を取り込み、新たな成長の原動力にする。

大手撤退事業、中小が取得

成果取り込み成長力を強化



三星ダイヤモンド工業が買収した企業のレーザー加工機

M&A 中小でも関心高まる

資金や社員待遇など課題

仲介の中小企業M&Aセンター(東京・中央)では、件数の増加ペースが加速。「3月の相談件数は前年同月の約1・5倍に増えた」(辻繁夫社長)。M&A(合併・買収)に景気底入れの兆しが出てきた今年に入つてから、M&Aの対象は後継者

といつ。

中小企業M&Aセ

ンター(東京・中央)では、件数の増加ペースが

伸び、「3月の相談件数は前年同月の約1・5倍に増えた」(辻繁夫社長)

といつ。

中小企業M&Aセ

ンター(東京・中央)では、件数の増加ペースが